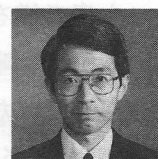




医療連携室 TEL & FAX 03-3364-0366

内科－糖尿病内分泌科紹介

社会保険中央総合病院
内科部長 大村 昌夫



いつも当院の診療へ御支援、御協力いただきまして有り難うございます。

内科・糖尿病内分泌科では、生活習慣病の代表的疾患である糖尿病と内分泌（ホルモン）疾患を中心に、高脂血症、高尿酸血症など、幅ひろい疾患の診療を担当しております。

糖尿病の診療におきましては、食事指導や生活指導が重要であることは皆様御承知の通りですが、実地診療上その指導には多くのスタッフと時間が必要となります。当科では、栄養課、薬剤部、看護局が綿密に連絡しあい、患者様へのきめ細かい御指導を心掛けておりますので、患者様の御指導でお困りの場合がございますら御相談下さい。また当科では通常の糖尿病の入院以外に、軽症糖尿病患者様を対象とし短期間で糖尿病の教育と合併症の早期発見、治療方針決定を行なう一週間の糖尿病教育のクリティカルパス入院も実施しており、あわせて御利用下さい。

糖尿病診療では、血糖コントロールのみならず各種合併症の診断治療に多くの診療科の横断的協力が必要です。当院では、つつじ第2号で御紹介申し上げました眼科による糖尿病性網膜症の診断から光凝固療法、硝子体手術、腎臓内科での糖尿病性腎症の診断から透析治療、循環器内科による冠動脈疾患の診断からインターベーション、心臓血管外科によるバイパス手術、皮膚科、整形外科と連係した diabetic foot の治療など、糖尿病から生じる各種合併症に幅広く対処しうる診療体制をとっており、合併症の治療でお困りの際も御相談下さい。

内分泌疾患は日本医師会の生涯教育シリーズ-59「内分泌疾患診療マニュアル」にも述べられていますように、一般症状にかくれた頻度の多い common disease であり、有病率が一般人口の 10% をこえる甲状腺疾患はもとより、高血圧症の原因の 10% 近くをしめる副腎性高血圧症、下垂体疾患、副甲状腺疾患などの診断治療を行っています。また内分泌疾患の診断に不可欠な RI 検査、副腎静脈採血、海綿静脈洞採血などの特殊検査も放射線科の協力で行なっておりますので、内分泌疾患の診断、検査、治療にお困りの場合は当院の内分泌学会専門医にお気軽に御相談いただければ幸いです。

